



まちの未来スクール@弘前

3
DAYS

2023 **8.25** (金) **26** (土) **27** (日)

お問合せ 弘前市都市計画課(0172-35-1134)

会場 弘前オランド(弘前市百石町47-2)

公開プレゼン会場 CAFE & RESTAURANT BRICK(弘前市吉野町2-11 弘前れんが倉庫美術館カフェ・ショップ棟)

お申込 URL or QRの専用フォームからお申込ください。 URL <https://forms.gle/vkrLh4gd4jKMmqtv5>

QR





まちづくり起業家育成プログラム

君のお店が成功して、まちが賑やかになる方法、教えます。

弘前「まちの未来スクール」は、地域に根ざした先駆的な地方都市の起業家たちを招いて、セミナーとフィールドワークを中心に実施する3日間の集中プログラムです。

弘前のまちをフィールドとして、遊休不動産を活用した0→1起業、事業承継起業、多拠点居住型副業地方起業、社内新事業創業について学び、実際の遊休不動産を活用した事業計画を作成し、最終日には金融機関や投資家、物件オーナーに向けたピッチイベントを開催します。もちろんスクール終了後も実際の起業まで伴走支援していきます。

まちの未来を考えている仲間との出会いを求めている方、新たなビジネスチャンスを見つけたい方のご応募お待ちしております！

開催概要

- 開催日:2023年8月25日(金)・26日(土)・27日(日)
- 会場:弘前オランダ(〒036-8035 青森県弘前市百石町47-2)
- 公開プレゼン会場:CAFE & RESTAURANT BRICK
(弘前市吉野町2-11 弘前れんが倉庫美術館カフェ・ショップ棟)

タイムテーブル

DAY 1 8月25日(金)	DAY 2 8月26日(土)	DAY 3 8月27日(日)
11:00-12:00 開校式・ガイダンス	8:30-19:00 ワークなど	8:30-14:00 ワークなど
12:00-19:00 ワークなど		14:00-15:30 公開プレゼンテーション
19:00-20:30 オープニングパーティ		15:30-16:00 クロージングアクト
		16:00-16:15 閉校式
		17:00-18:30 クロージングパーティ

受講申込

- 対象者:何か弘前で事業をやりたい、チャレンジしたい方
- 受講資格:3日間の全カリキュラムに参加できる方で、起業やまちづくりなどに興味を持っている方。経験は不問(学生可)
- 募集人数:24名 ※申込みフォームの内容を総合的に評価し、厳正な審査を行います。受講生の決定は、個別に電子メールでお伝えします。
- 申込期間:2023年7月31日(月)
- 注意事項:①事前課題があります。課題については受講決定後にお知らせします。
②受講決定後のキャンセルは、原則お受けできません。
③やむを得ない事情が発生した際には、速やかに事務局までご連絡ください。

- 受講料:10,000円(学生は5,000円)資料代、機材使用料等含む
※別途オープニングパーティ代、クロージングパーティ代がかかります。
※会場までの交通費・期間中の宿泊費等はご自身でご負担ください。
※受講料のお支払方法は、選考結果の発表と同時にご案内します。
※受講決定後・受講料入金後のキャンセルは、原則お受けできませんので、あらかじめご了承の上、お申し込みください。

[facebook](https://www.facebook.com/machino.mirai.school) <https://www.facebook.com/machino.mirai.school>

[Instagram](https://www.instagram.com/machino_mirai_school) https://www.instagram.com/machino_mirai_school

講師



スクールマスター

青木 純 Jun Aoki

株式会社 まめくらし 代表取締役
株式会社 nest 代表取締役

1975年東京都生まれ/生まれ育った東京都豊島区を舞台にネイバーフッドコミュニティを育み、人中心のウォークラブルなまちづくりを公民連携で推進している。「まちのもう一つの食卓」をコンセプトにした都電荒川線沿線の空き店舗活用飲食事業「都電テーブル」は早稲田・雑司が谷・東尾久の三店舗を展開。南池袋公園・グリーン大通りを舞台に2017年から取り組む『IKEBUKURO LIVING LOOP』ではイベントや実験からハード整備につなげ、新たなまちの個性となる「まちなかりビングのある日常」の風景を地元企業と共創している。コミュニティが価値を育む「青豆ハウス」「高円寺アパートメント」等の企画運営を通して主宰する「大家の学校」で愛ある大家の育成にも取り組む。2021年より国土交通省『「ひと」と「くらし」の未来研究会』コアアドバイザー。著書に「大家も住人もしあわせになる賃貸住宅の大家も住人もしあわせになる賃貸住宅のつくり方」。



ユニットマスター

福岡 佐知子 Sachiko Fukuoka

株式会社 三角形 代表取締役
株式会社 寿百家店 代表取締役

1978年生まれ/福岡県行橋市出身。山口大学大学院(博物・芸術論)修士課程修了。公立文化施設やアートNPOで事業企画、コーディネーター、広報等のマネジメント業務に携わる。2012年独立、北九州市八幡西区黒崎でまちづくりNPOを設立。2015年PR・企画部門を株式会社三角形として法人化、2015年寿通り商店街に事務所を移転。2016年より昼はオフィス、夜はワインバーのコンセプトで「TR▲NSIT(▲はA)」を開業。2017年12月よりデリカテッセン「コトキッチン」を開業。2020年5月、株式会社寿百家店設立、テナント転貸とシェアハウス事業、飲食店「あんともん」をはじめ。2018年当時は14店舗中9店舗が空き店舗だったシャッター商店街の変遷がテレビ番組で取り上げられたことをきっかけに、小さな商店街は注目されることとなった。2022年「コトキッチン」を26歳のスタッフに事業譲渡した。



ユニットマスター

西村 浩 Hiroshi Nishimura

株式会社 ワークヴィジョンズ 代表取締役

1967年佐賀市生まれ/東京大学工学部土木工学科卒業、同大学院工学系研究科修士課程修了後、1999年ワークヴィジョンズ一級建築士事務所(東京都品川区)を設立。土木出身ながら建築の世界で独立し、現在は、建築・リノベーション・土木分野のデザインに加えて、全国各地の都市再生戦略の立案にも取り組む。2014年には佐賀市呉服元町に同社佐賀オフィス兼シェアオフィス「COTOCO215」を構え、2020年にはベーグル専門店「MOMOS' Bagel」の事業主となり、マイクロデベロッパーとしても佐賀のまちづくりに取り組んでいる。



ユニットマスター

中村 公一 Koichi Nakamura

弘前市まちづくりプレイングマネージャー
株式会社 クロックアップ 代表取締役

1978年青森県生まれ/東京の広告制作会社でアートディレクターを経て2005年に渡米。NYの名門レコードレーベルにてブランディング業務を担当。帰国後、インターFMでのラジオパーソナリティ、映像制作会社ディレクターを経て2009年青森に帰省。2012年「青森をブランディング!地方から世界へ逆発信!」をコンセプトに株式会社クロックアップを起業。

主催:弘前市